

色とりどりのチョークの絵で彩られた駐車場—美浜町の奥田小で



駐車場に落書きカラフル

美浜町の奥田小学校で十のチョークで「落書き」するイベントがあり、同校の児童と日本福祉大(同町)の学生たちが一緒になって楽しんだ。

町教委と日福大が、地域交流を目的に実施。教員志望の大学生十一人と、十八人の児童が参加した。「落書き」を企画した日福大教育・心理学部の松下明生教授は「絵は誰にでも描ける。一緒に絵を描くことを通して、より交流が深まる」と意図を説明。その言葉通り、学生と児童は笑顔で言葉を交わしながら、思い思いに絵を描いていた。

奥田小六年の
は「カブトムシやゴジラを描いた。何でも描いていいと言われたので、楽しくできた」。日福大四年の横山大翔さん(三)は「子どもたちと楽しく交流でき、とても良い機会になった」と話していた。

(三宅駿平)

美浜・奥田小児童と日福大生 絵で交流深める